

平成 30 年度 学校評価に於ける中間報告

○環境整備課

点検・評価項目	自己評価	自己評価・自己評価項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
	3 優れている 2 適切 1 改善が必要		
ペットボトルの回収	2	クラス美化委員がペットボトルのキャップ回収に協力の呼びかけを実施した。 かなりの量が回収された。	生徒会・インターアクトと協力し、美化委員は分別回収を率先した。 プルタブの回収にも努めた。
美化キャンペーン(ゴミ、ガム等)ポスター作成	3	ゴミ・ガム等のポイ捨てをしない、分別してゴミ箱に入れる、の啓発ポスターを3年生の美化委員が作成した。そのポスターを全校の教室に掲示し美化委員が呼びかけを実施した。効果はあったように感じる。	今年は、トイレトペーパーの無駄使い防止ポスターもトイレに掲示した。 ゴミ捨て時の分別習慣の啓蒙は今後も継続する。 生徒会と協力して文化祭時の清掃活動に努める。 2年生・1年生のポスターも今後作成し掲示する。
クラスの清掃区域の点検実施	2	環境整備課の職員が週に2回、各ハウスの清掃区域の点検を実施し、不十分な箇所を担当等に知らせる。その結果きれいな教室が多くなっている。	各ハウスが都合のよい曜日に週2回実施する。
全校トイレ清掃の点検実施	2	週に1回、副校長、教頭、環境整備課でトイレ清掃の点検を実施し、不十分な箇所を担当教員に知らせる。その結果きれいなトイレが多くなっている。	週に1回原則的に水曜日に実施。行事等がある場合はその都度実施する。 トイレの使い方マナーキャンペーンとしてのポスターを掲示した。
物品(学校備品の管理徹底)	3	損壊の机・椅子等の交換が多くなっている。	机・椅子の保持管理をする。
その他	3	消耗品の補充管理をする。	蛍光灯・箒・トイレ洗剤・手洗い洗剤・ガラスクリーナー・芳香剤の保持を怠らない。

平成 30 年度 学校評価に於ける中間報告

環境整備課

点検・評価項目	自己評価	自己評価・自己評価項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
	3 優れている 2 適切 1 改善が必要		
ペットボトルの回収	2	クラス美化委員がペットボトルのキャップ回収に協力の呼びかけを実施した。 かなりの量が回収された。	生徒会・インターアクトと協力し、美化委員は分別回収を率先した。 プルタブの回収にも努めた。
美化キャンペーン(ゴミ、ガム等)ポスター作成	3	ゴミ・ガム等のポイ捨てをしない、分別してゴミ箱に入れる、の啓発ポスターを3年生の美化委員が作成した。そのポスターを全校の教室に掲示し美化委員が呼びかけを実施した。効果はあったように感じる。	今年は、トイレトペーパーの無駄使い防止ポスターもトイレに掲示した。 ゴミ捨て時の分別習慣の啓蒙は今後も継続する。 生徒会と協力して文化祭時の清掃活動に努める。 2年生・1年生のポスターも今後作成し掲示する。
クラスの清掃区域の点検実施	2	環境整備課の職員が週に2回、各ハウスの清掃区域の点検を実施し、不十分な箇所を担当等に知らせる。その結果きれいな教室が多くなっている。	各ハウスが都合のよい曜日に週2回実施する。
全校トイレ清掃の点検実施	3	週に1回、副校長、教頭、環境整備課でトイレ清掃の点検を実施し、不十分な箇所を担当教員に知らせる。その結果きれいなトイレが多くなっている。	週に1回原則的に水曜日に実施。行事等がある場合はその都度実施する。 トイレの使い方マナーキャンペーンとしてのポスターを掲示した。
物品(学校備品の管理徹底)	2	損壊の机・椅子等の交換が多くなっている。 トイレ内の損壊が目立つようになった。	机・椅子の保持管理をする。
その他	3	消耗品の補充管理をする。	蛍光灯・箒・トイレ洗剤・手洗い洗剤・ガラスクリーナー・芳香剤の保持を怠らない。